

議会報告会 記録(概要) 報告書(総務2班)

開催日時	令和 5 年 10 月 11 日 (水) 午前 9 時 45 分 ~ 10 時 35 分			
開催場所	日光市立今市中学校			
班 員	瀬高 哲雄	荒川 礼子	生井 一郎	山越 享太郎
学校・クラス・人数	今市中学校 3年2組 31名			
議会報告会の内容	①議会報告会の主旨・議会の役割などをわかりやすく説明、②生徒の皆さんがもし市議員だったら、市の予算を使い人口減少対策、どうしたら人口が増えるかについて考え発表、③議員によるまとめ(総評)			
生徒からの質疑・意見・課題など			報告会の中で出た解決方法など	
【学校・企業誘致】 ○大学を建てる ○病院や会社を建てる ○大きなテーマパークをつくる ○廃ホテルを再利用してアパート・会社などをつくる 【インフラ整備】 ○交通の整備 ○空港をつくる 【教育・スポーツ支援】 ○小学生に勉強道具・ランドセルの支給 ○球場やグラウンドの整備(スポーツチームをつくる) ○留学支援 【出産・子育て支援】 ○赤ちゃんがいる家庭に市からお金を出す ○出産前の支援・サポートできる人の募集 【シティプロモーション・移住定住】 ○PR等で日光市の魅力を伝える ○流行を取り入れたまちづくり ○移住者受入れ・センターの設置 ○温泉を活用したまちづくり ○全国に日光市のお店をつくる(アンテナショップ) 【医療の整備】 ○小児科の設立			・生徒の意見には、学校・企業誘致の他に有名なチェーン店やアニメの人気ショップを誘致する等、販売店を通じたまちの活性化を提案する意見が複数出た ・全国に日光市のショップをつくるというのは、都道府県のアンテナショップと同じ発想 ・移住者受入れのセンター設置は、ワンストップ窓口と同じ発想で、移住者の方が安心して日光市に引っ越しができるようにという内容 ・小児科の設立は、保護者が常々言っている実体験からきたものだと推測できる	
【班としての総括・今後の方向性】 各班員の協力により、概ね予定通り、報告会の進行をすることができた。また生徒については、我々が思った以上に、積極的に真剣に報告会に臨んでくれて、多くのコミュニケーションを取ることができた。今後の課題として、生徒が考える時間よりも、発表をすることに時間を割くことで、より闊達な意見交換ができると考える。学校側に協力を仰ぎ、授業前に課題の導入をお願いするのも、一つの選択肢として考えられる。				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 5年 11月 13日

班長 瀬高 哲雄

議会報告会 記録(概要) 報告書(総務2班)

開催日時	令和 5 年 11 月 13 日 (月) 午前 9 時 50 分 ~ 10 時 40 分			
開催場所	日光市立東原中学校			
班 員	瀬高 哲雄	荒川 礼子	生井 一郎	山越 享太郎
学校・クラス・人数	東原中学校 3年2組 36名			
議会報告会の内容	①議会報告会の主旨・議会の役割などをわかりやすく説明、②生徒の皆さんがもし市議員だったら、市の予算を使い人口減少対策、どうしたら人口が増えるかについて考え発表、③議員によるまとめ(総評)			
生徒からの質疑・意見・提案など		報告会の中で出た解決方法など		
1班 ○子育て支援の強化(出産時の補助金を一部負担)○保育園を増やす・地域行事の規模拡大		1班の意見としては、子育て支援を経済的に支える事が必要と考える。地域の行事をもっと拡大することで、交流や市外から人を呼び人口増加につなげる。		
2班 ○子供にかかる費用を少なくする○高校の入学金を2~3割の負担にする ○交通機関の料金を下げる		2班の意見としては、子育てや教育費の負担軽減をしたり、市内全体の公共交通機関の料金を下げる事で住みやすくする。		
3班 ○子育てサポート、高齢者サポート(支援金、必要なものを配付)・結婚センターをつくる・日光市でしかできないことをし、PRする		3班の意見としては、子育てや高齢者に必要なものを配付したり経済的な支援をする。もっと、日光でしかできないことをやって、日光の良いところをPRし、移住を促進するような取組。		
4班 ○誰でも楽しめる施設をつくる○移住してくれた方への補助金○小中高の学費を2~3割負担する		4班の意見としては、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる施設をつくる(例ベルモール)。補助金を出すことで移住を促進する。		
5班 ○ 交流イベント(全国の食べ物を集めたフェス)○子供のいる家族への補助金(高校生までの子ども)○環境整備(緑を増やす、景観をよくする)		5班の意見としては、全国の食べ物を集めたフェスなどの交流イベントをやることで賑わいを創出する。子供のいる家庭へ子育て支援として、補助金を出す。		
6班 ○共働きや子育ての保障を充実○雇用を増やしPRする ○ゆるキャラランドを作り県外から人を呼ぶ		6班の意見としては、共働きしやすい環境を整え、子育てしやすい環境づくりをする。働く場所の確保が重要。ゆるキャラランドを作って、注目を集め、県外から人を呼ぶ。		
○その他の意見として・・・(有名人をPRアンバサダーにつける・人が集まれる、人と人の交流ができる場所・小さい子どもがいる家庭への割引など)				
【班としての総括・今後の方向性】 中学生の皆さん、まじめで比較的堅実な提案が多く見受けられた。その中でも、特に多かった意見は子育てや教育への経済的支援の提案、また、雇用や市のPR さらには、誰でも楽しめる人と人が交流できる施設・人が集まれる場所などを挙げる生徒が複数名あった。大規模商業施設のようなイメージかも知れないが、別な視点でも捉えられ、子供たちが人とのつながりを人口減少の対策として捉えていることに少し意外な感じを受けたが素晴らしい発想だと思った。また、子供ならではの発想もあり今回のような取組は議会としてもよい刺激となった。また、子供たちにとっては、議員というのは日常から遠い存在であり、政治を身近に感じたり、関心を寄せることもあまりないように感じた。本体ならば、もっと子供たちにその年齢に応じた、議会や、市政に関心を持てるような機会を創出することで、自分の故郷への愛着やまちづくりへの関心を持ってもらい、育てていくことが大切であり、今後の本市の人口減少対策や持続可能なまちづくりにおいて、非常に重要であると捉える。そうした観点からも、もっと気軽に子供たちが議会や議員に直接触れる機会の創出や、子供たちにまちづくりについて考えてもらうような機会を設けることも大切であると感じた。今回の経験を今後の議会活動の参考にしていきたいと思う。				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 5年 11 月 17 日

班長 瀬高 哲雄